

# 沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学・統計解析委員会

## 【現状】

### 新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（2月21日-27日）の新規陽性者数は、4,362人（先々週 4,261人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における先週の実効再生産数(R)<sup>\*1</sup>は1.04 [最小値0.53-最大値1.53]、このうち那覇市は1.08 [0.54-1.57]でした。また、宮古は1.01 [0.31-1.67]、八重山は0.91 [0.30-2.65]でした（図1）。全県的に流行規模は横ばいで推移しています。

\*1：最終日を除いた直近7日間における日別推定値（平均値）の平均値。[ ]内は、直近7日間における日別推定値（平均値）の範囲（最小値から最大値）を表す。

### 年齢階級別推移

年齢階級別では、10歳未満が865人（20%）と最多であり、10代730人（17%）、30代685人（16%）と続きます（図2）。30代以下の年代はすべて増加しており、とくに、10歳未満は前週比1.15倍と最も高くなっています。

### 幼年・若年層

学校別では、保育・幼稚園児287人（先々週219人）、小学生609人（先々週507人）、中学生181人（先々週210人）、高校生140人（先々週151人）でした。小学生以下の子どもたちで感染が拡大しています。

保健所による疫学調査によると、保育・幼稚園児では園内感染が31%と最多であり、小学生と中学生では家庭内感染が最多であり、高校生では友

人からの感染が20%と最多となっています（図3）。

### 保健所管区別・市町村別推移

保健所管轄区域別（7日間合計）では、北部290人（先々週177人）、中部1,727人（先々週1,765人）、那覇市866人（先々週792人）、南部1,227人（先々週1,252人）、宮古83人（先々週70人）、八重山131人（先々週189人）でした（図4）。

人口1万人以上の市町村別（人口10万人あたり7日間合計）では、多い順にうるま市424（先々週473）、中城村376（先々週233）、豊見城市372（先々週320）でした（図5）。北部において拡大しており、とくに名護市に新規陽性者数は集中していますが、国頭村、本部町でも拡大しています。

なお、県外からの渡航者は26人（先々週26人）でした。

### 入院患者数推移

入院患者数は、先週末（2月27日時点）で306人と1週間前より14人増加となり、今月に入って初めて増加に転じています。これは医療機関における集団感染が影響しています。ただし、酸素投与など中等症患者は145人と1週間前より24人減少しており、気管挿管など重症患者は1人と1週間前より2人減少しています（図6）。この他、社会福祉施設で療養されている陽性者が、先週末（2月27日時点）で17施設に109人おられ、1週間前より24人減少しています。

## 【今後の見通しと対策】

沖縄県における流行は下げ止まっており、とくに小児において感染の拡大が続いています。活動性の高い20代、30代も増加傾向にあり、再流行の前兆と捉えることもできます（図7）。

子どもたちでは、家庭内のほか、部活など課外活動や友人関係を通じた感染が一定数あることが確認されています。学校内における感染対策を維持するだけでなく、マスクを外したり、多人数で密集したりする場を減らすよう、周囲の大人たちからも確認をお願いします。必要なイベントであるときは、抗原定性検査により事前に参加者の陰性を確認することも検討してください。

また、活動的な若年世代では、職場や交友関係など密接となる機会において感染が広がっています。とくに会食はリスクが高いことから、なるべく同居する家族など、いつも一緒にいる方とお願いします。友人と食事をともにすることもありますが、できるだけ4人以下とし、長時間（2時間以上）の会食は避けてください。回数も減らしていただくようお願いします。

さらに、これから年度末にかけて、卒業式や送別会、謝恩会、あるいは延期されていた成人式の開催を予定している市町村もあると思います。できるだけ飲食を伴うイベントは避けていただくか、参加者全員への抗原定性検査を行って陰性を確認いただければと思います。

また、帰省などにより一般家庭に宿泊したり、スポーツイベントに参加したりするなど、県内へとウイルスを持ち込むリスクが高い渡航者については、事前に検査を受けてから来県されることを強くお勧めします。これは、沖縄本島から離島へと訪問される方についても同様です。

一方、高齢者の感染者数は横ばいで推移しており、先週末時点における病床占有率は48.3%と抑えられています。今後も高齢者や基礎疾患を有する者、肥満、妊婦の一部など重症化リスクの高い

方々を守り、とくに高齢者施設（デイサービスを含む）における集団感染を回避することが重要です。

これまでに、若者世代における感染拡大から1-2週間後に高齢者へと移行することが多いことが確認されています。介護従事者など高齢者と接触のある方々は、日ごろからマスク着用と手指衛生を心がけていただくほか、症状に気が付いたら業務中であっても仕事を休んでいただくこと、症状を認めたときはPCR検査または抗原定性検査を速やかに受けていただくようお願いいたします。

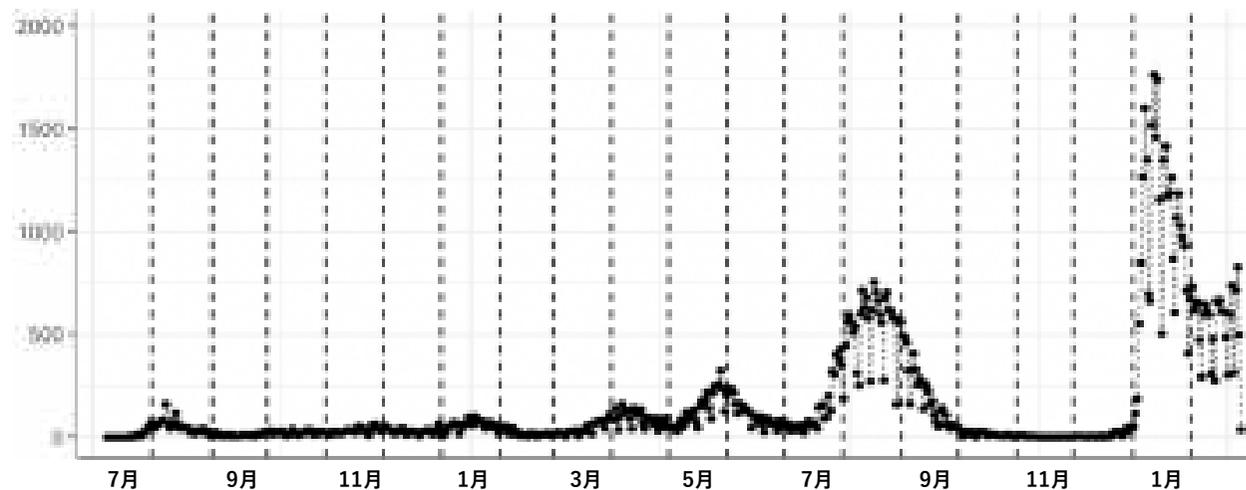
今週の新規陽性者数は、4,000-6,000人と見込まれます。また、今週末までに入院患者数は280-330人に至り、うち重症患者数は1人前後と見込まれます（図8）。コロナ病床使用率が各圏域で60%以上となった場合には、重点措置が改めて要請される可能性があります。

# 図1 陽性者数の推移と実効再生産数 (北部、中部、南部)

## 陽性者数 (確定日)

日あたり観察値

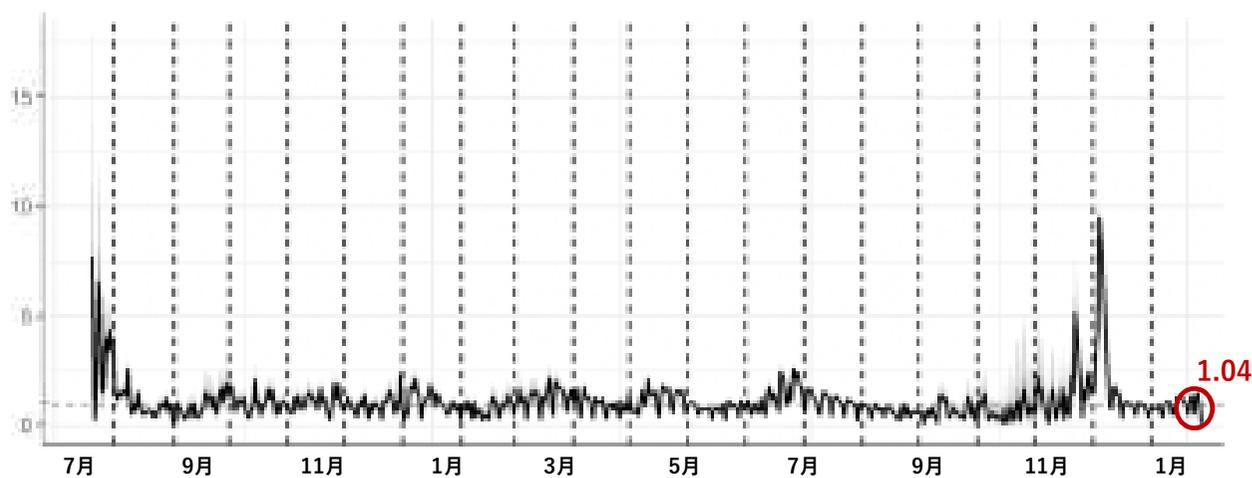
北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



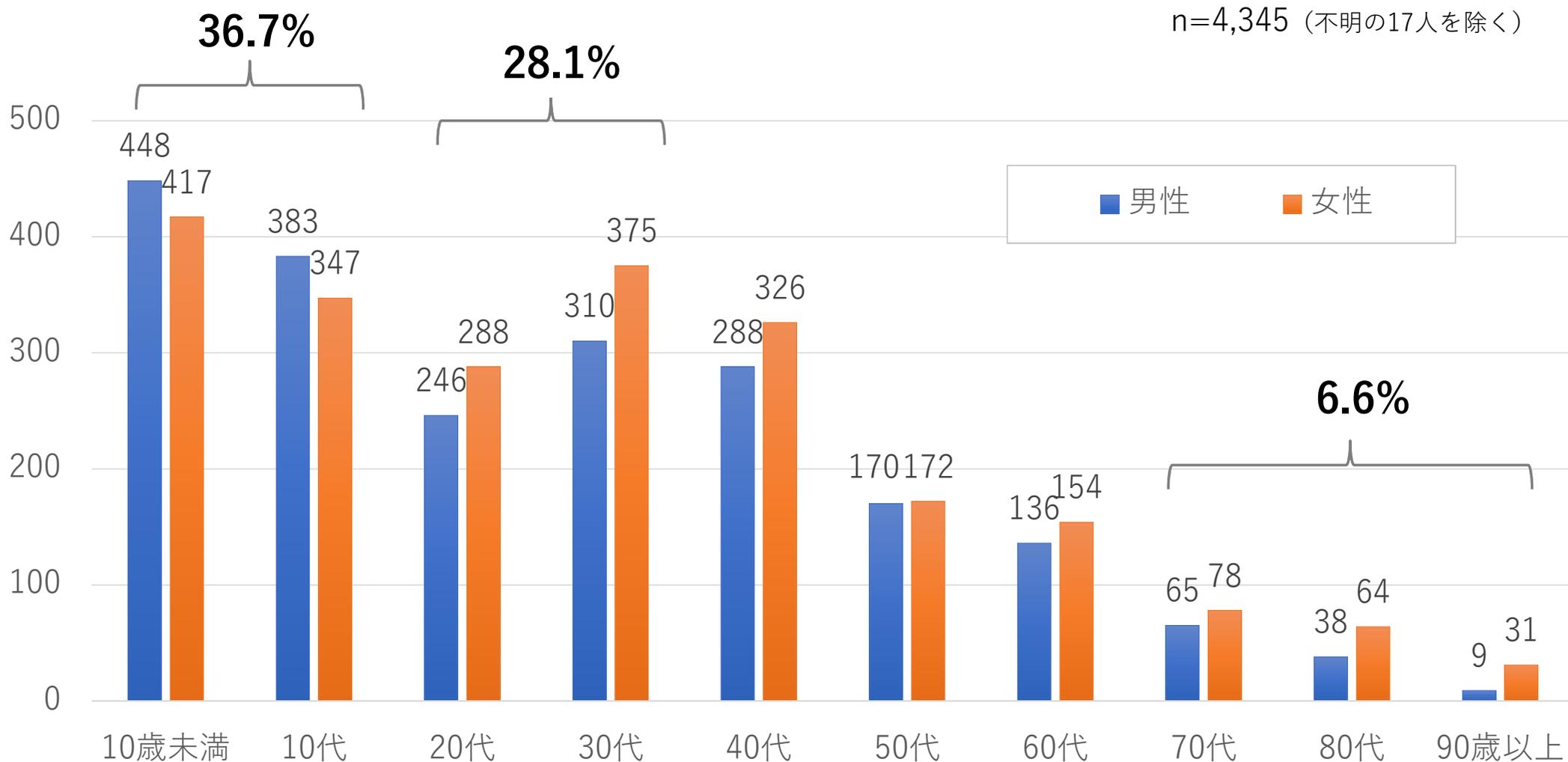
## 実効再生産数

直近7日間平均値

北部、中部、南部医療圏  
(宮古・八重山を除く)



# 図2 性年齢階級別に見る陽性者数 (2月21日~27日)



# 図3 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

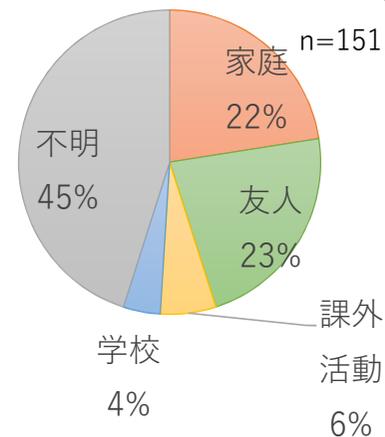
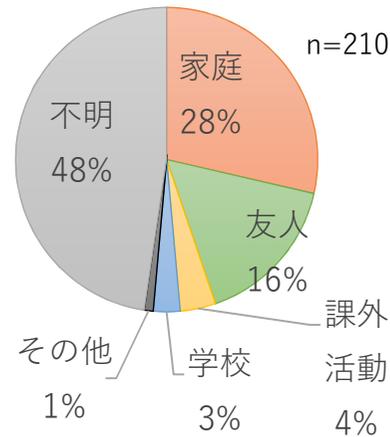
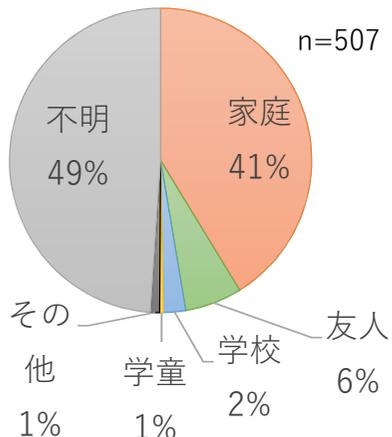
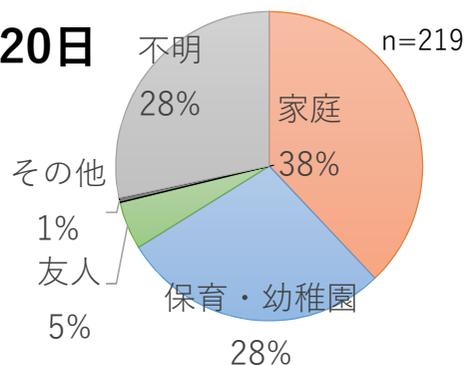
## 保育・幼稚園児

## 小学生

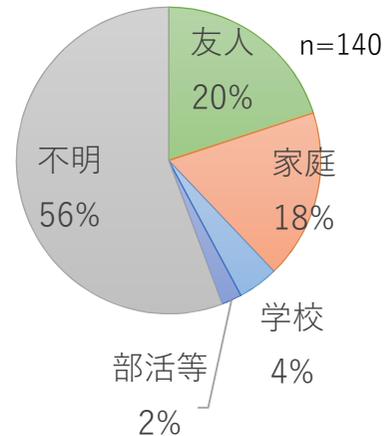
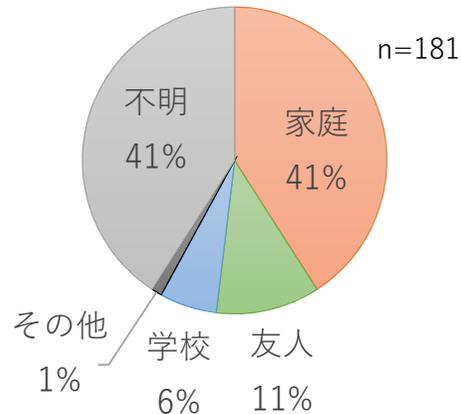
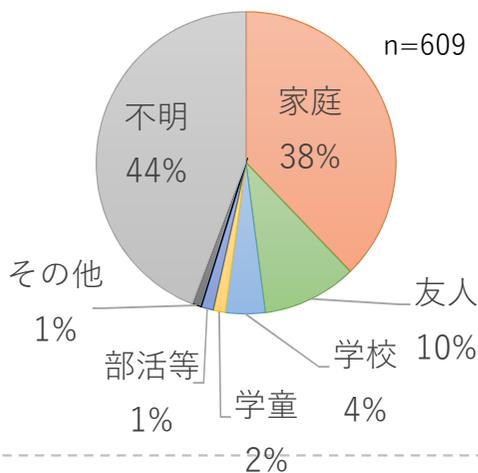
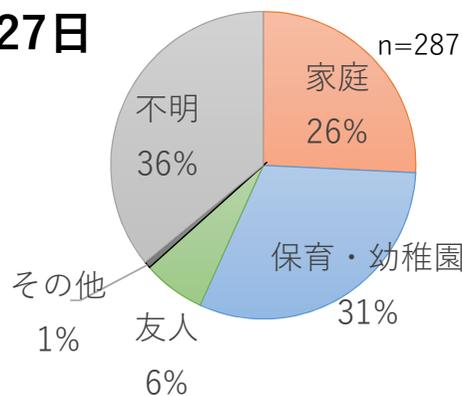
## 中学生

## 高校生

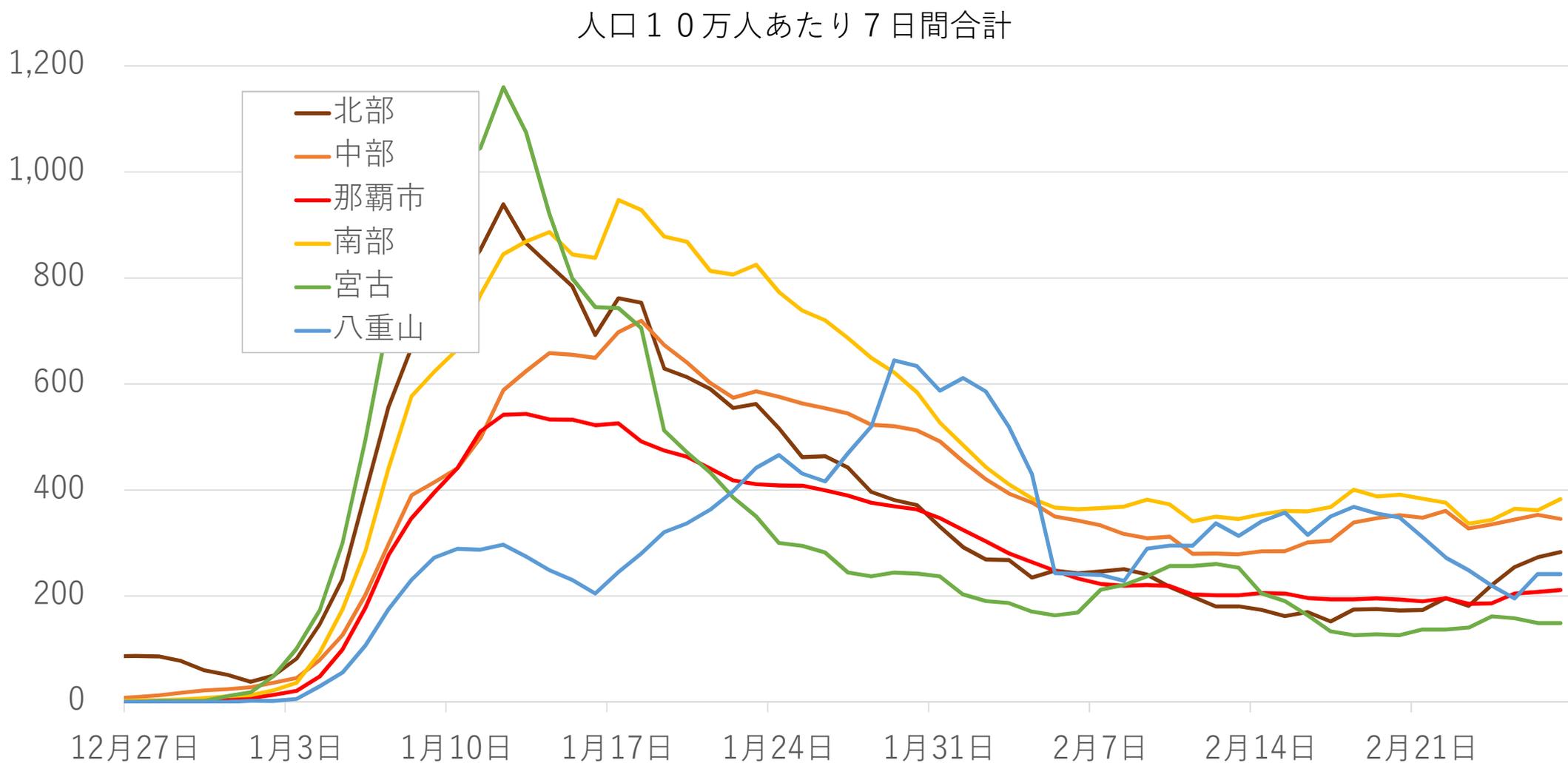
2月14日～20日



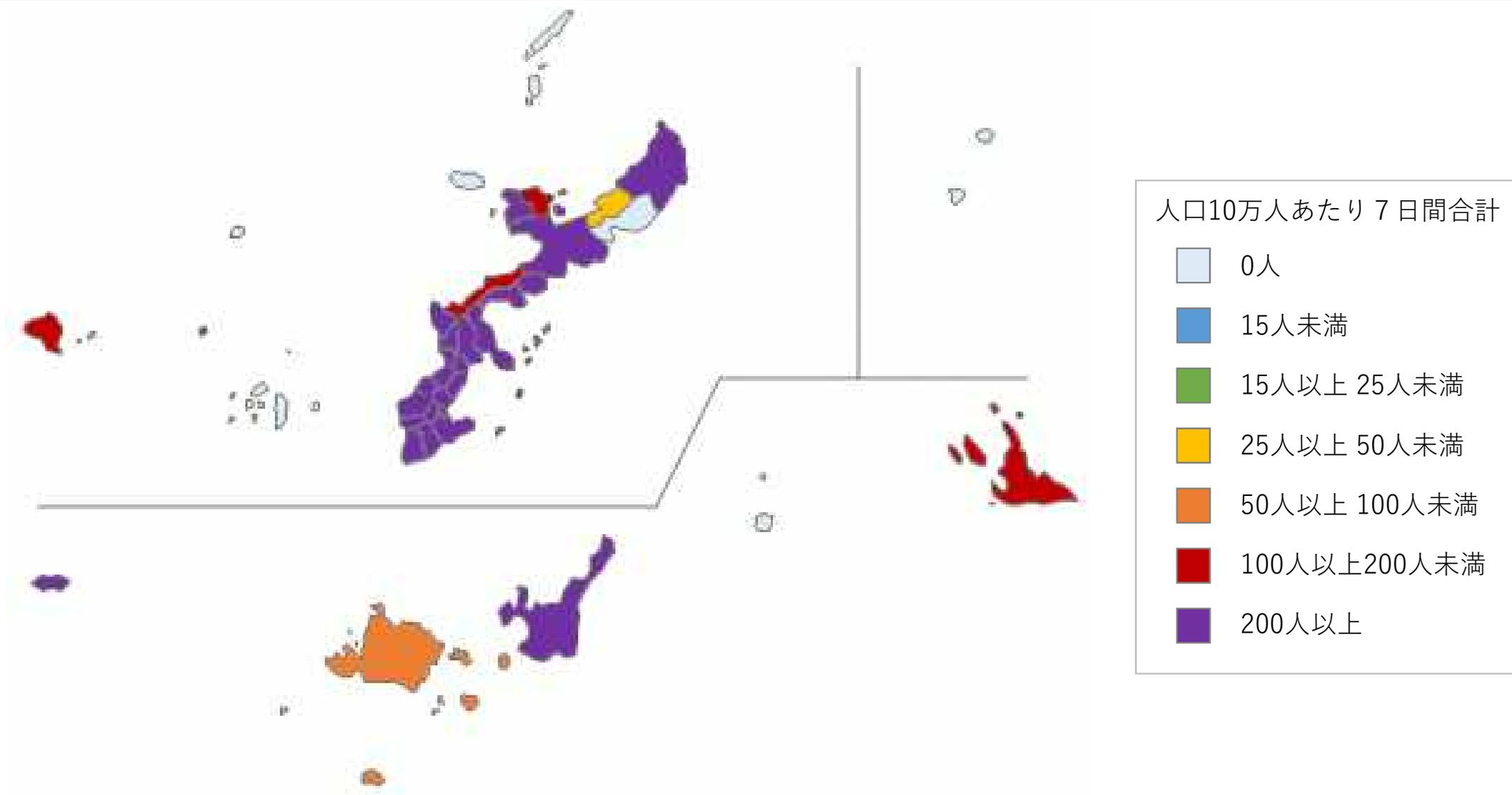
2月21日～27日



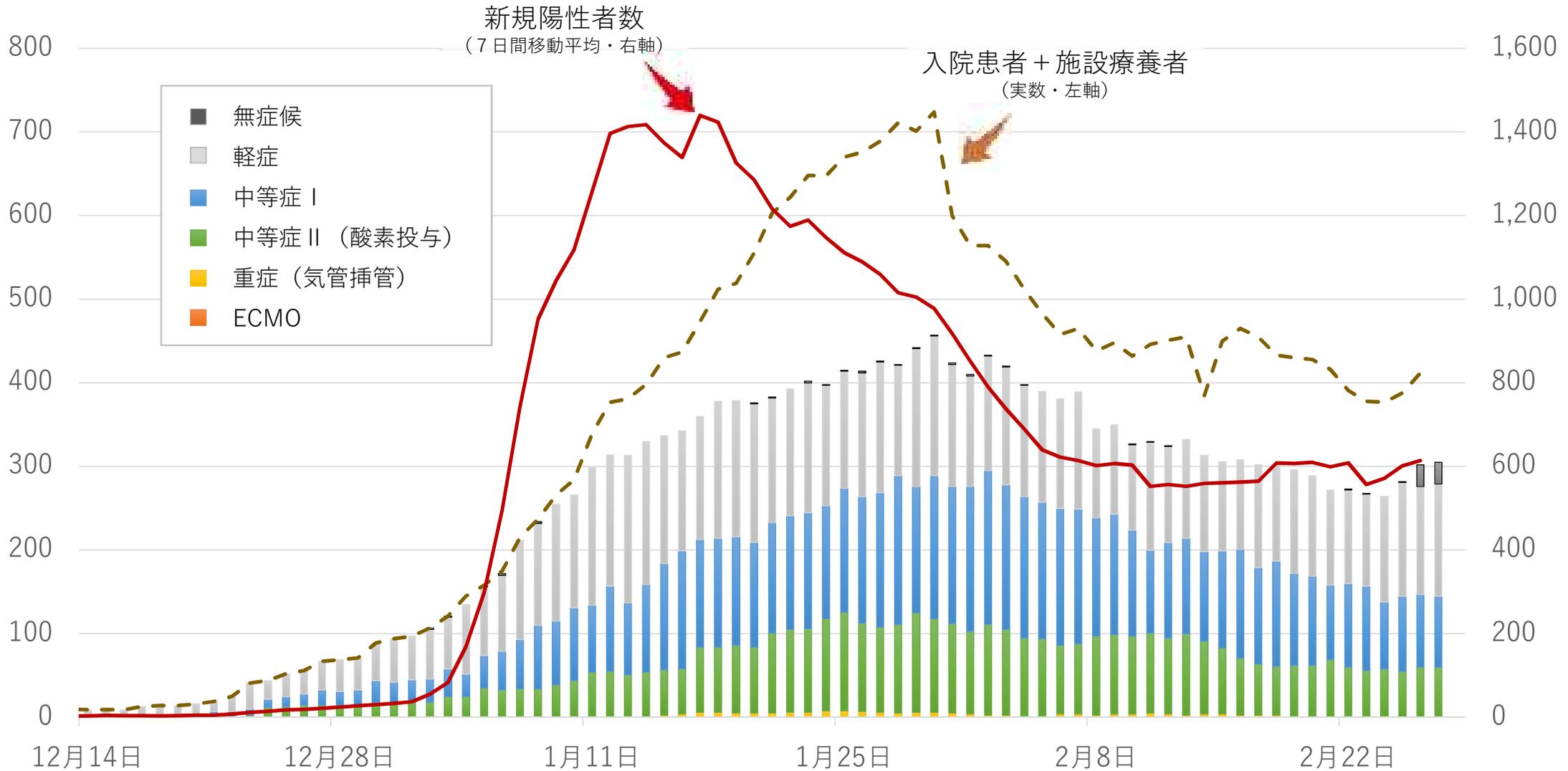
# 図4 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）



# 図5 沖縄県・市町村別ヒートマップ (2月21日~27日)

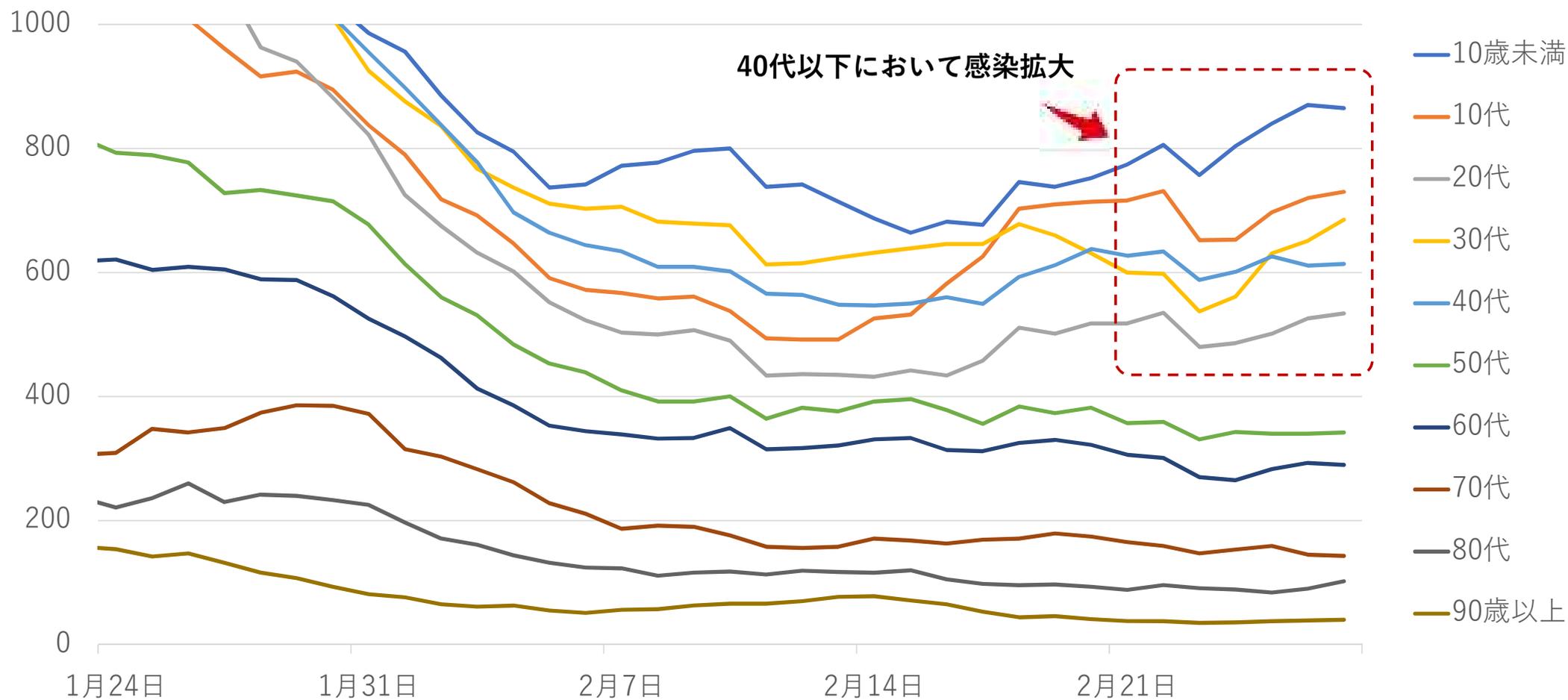


# 図6 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移



# 図7 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計



# 図8 今後1週間（2月28日-3月6日）の発生見込み数

分析データ： 新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率； 沖縄県  
 年齢群別重症化率； 厚生労働省  
 平均期間（入院・重症）； HER-SYS

実効再生産数	新規陽性者数（確定日）				入院患者数※				重症患者数※			
	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0	0.5	1.0	1.5	2.0
<b>北部</b>	133	268	540	1,087	22	25	28	35	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>中部</b>	855	1,722	3,468	6,983	73	88	113	155	0.0	0.0	0.0	0.1
<b>那覇市</b>	421	847	1,706	3,435	53	63	78	104	0.6	0.6	0.7	0.7
<b>南部</b>	570	1,147	2,310	4,651	59	71	90	123	0.0	0.0	0.0	0.1
<b>宮古</b>	41	82	165	333	8	9	11	13	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>八重山</b>	64	129	260	523	27	30	35	44	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>合計</b>	<b>2,083</b>	<b>4,195</b>	<b>8,448</b>	<b>17,012</b>	<b>243</b>	<b>286</b>	<b>356</b>	<b>473</b>	<b>0.7</b>	<b>0.7</b>	<b>0.8</b>	<b>0.8</b>

※ 3月6日時点の見込み数

沖縄県疫学・統計解析委員会